【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年9月8日(2022.9.8)

【公開番号】特開2022-36232(P2022-36232A)
【公開日】令和4年3月4日(2022.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-039
【出願番号】特願2022-2946(P2022-2946)
【国際特許分類】
*Ｇ０３Ｇ 21/16(2006.01)*
*Ｇ０３Ｇ 15/08(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ 21/16 １７６
Ｇ０３Ｇ 15/08 ３４３

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月31日(2022.8.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
現像剤を受入れる受入れ口が形成された現像剤受入れ部と、前記現像剤受入れ部と一体的に変位可能な被係合部と、を有する現像剤受入れ装置に着脱可能な現像剤補給容器において、
現像剤を収容する回転可能な現像剤収容部と、
前記現像剤収容部に収容された現像剤を排出する排出口が底面に形成された排出部と、
前記現像剤補給容器の装着動作に伴って前記被係合部と係合して、前記受入れ口が前記排出口と連通するように前記現像剤受入れ部を変位方向に変位させる係合部材と、
前記排出部に設けられ、前記係合部材の両端部が回動可能となるような位置で前記係合部材を回動可能に支持する軸部と、
前記係合部材の前記軸部を中心とする第１の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第１の位置決め部と、
前記現像剤補給容器の装着方向において前記第１の位置決め部よりも上流側に位置し、前記係合部材の前記軸部を中心とする前記第１の方向とは反対方向である第２の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第２の位置決め部と、
前記現像剤補給容器を前記現像剤受入れ装置に装着する際に前記係合部材が前記現像剤受入れ部に係合する面が前記装着方向下流側を向くように、かつ、前記係合部材を前記第１の位置決め部に付勢させる付勢部と、を備え、
前記現像剤受入れ装置に対する前記現像剤補給容器の装着動作に連動して、前記係合部材は、前記被係合部に係合し、前記被係合部との係合によって前記第１の位置決め部から前記第２の位置決め部に向けて回動しながら前記現像剤受入れ部を変位させ、前記係合部材が前記第２の位置決め部に接触した状態において前記排出口が前記現像剤受入れ部と連通する、
ことを特徴とする現像剤補給容器。
【請求項２】
前記係合部材、前記軸部、前記第１の位置決め部、前記第２の位置決め部、および前記付勢部は、前記装着方向から前記排出部を見たときに前記排出部の両側にそれぞれ設けら

れている、
　ことを特徴とする請求項１に記載の現像剤補給容器。
【請求項３】
　前記係合部材は前記現像剤受入れ部が係合する平面を備え、前記第１の位置決め部に付勢された前記係合部材の前記平面が前記現像剤収容部の回転軸線を含む水平面に対して３０度から６０度の範囲に収まるように、前記軸部と前記第１の位置決め部が前記排出部に設けられている、
　ことを特徴とする請求項１又は２に記載の現像剤補給容器。
【請求項４】
前記装着方向において前記排出口は前記第１の位置決め部と前記第２の位置決め部との間に設けられている、
　ことを特徴とする請求項１乃至３いずれか１項に記載の現像剤補給容器。
【請求項５】
前記装着方向において前記軸部は前記第１の位置決め部と前記第２の位置決め部との間に設けられている、
　ことを特徴とする請求項１乃至４いずれか１項に記載の現像剤補給容器。
【請求項６】
　現像剤を受入れる受入れ口が形成された現像剤受入れ部と、前記現像剤受入れ部と一体的に変位可能な被係合部と、を有する現像剤受入れ装置と、
　前記現像剤受入れ装置に着脱可能な現像剤補給容器と、を備え、
　前記現像剤補給容器は、
　現像剤を収容する回転可能な現像剤収容部と、
　前記現像剤収容部に収容された現像剤を排出する排出口が底面に形成された排出部と、
　前記現像剤補給容器の装着動作に伴って前記被係合部と係合して、前記受入れ口が前記排出口と連通するように前記現像剤受入れ部を変位方向に変位させる係合部材と、
　前記排出部に設けられ、前記係合部材の両端部が回動可能となるように前記係合部材を回動可能に支持する軸部と、
　前記係合部材の前記軸部を中心とする第１の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第１の位置決め部と、
　前記現像剤補給容器の装着方向において前記第１の位置決め部よりも上流側に位置し、前記係合部材の前記軸部を中心とする前記第１の方向とは反対方向である第２の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第２の位置決め部と、
　前記現像剤補給容器を前記現像剤受入れ装置に装着する際に前記係合部材が前記現像剤受入れ部に係合する面が前記装着方向下流側を向くように、かつ、前記係合部材を前記第１の位置決め部に付勢させる付勢部と、を備え、
　前記現像剤受入れ装置に対する前記現像剤補給容器の装着動作に連動して、前記係合部材は、前記被係合部に係合し、前記被係合部との係合によって前記第１の位置決め部から前記第２の位置決め部に向けて回動しながら前記現像剤受入れ部を変位させ、前記係合部材が前記第２の位置決め部に接触した状態において前記排出口が前記現像剤受入れ部と連通する、
　ことを特徴とする現像剤補給システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
　本発明の現像剤補給容器は、現像剤を受入れる受入れ口が形成された現像剤受入れ部と、前記現像剤受入れ部と一体的に変位可能な被係合部と、を有する現像剤受入れ装置に着脱可能な現像剤補給容器において、現像剤を収容する回転可能な現像剤収容部と、前記現

像剤収容部に収容された現像剤を排出する排出口が底面に形成された排出部と、前記現像剤補給容器の装着動作に伴って前記被係合部と係合して、前記受入れ口が前記排出口と連通するように前記現像剤受入れ部を変位方向に変位させる係合部材と、前記排出部に設けられ、前記係合部材の両端部が回動可能となるような位置で前記係合部材を回動可能に支持する軸部と、前記係合部材の前記軸部を中心とする第１の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第１の位置決め部と、前記現像剤補給容器の装着方向において前記第１の位置決め部よりも上流側に位置し、前記係合部材の前記軸部を中心とする前記第１の方向とは反対方向である第２の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第２の位置決め部と、前記現像剤補給容器を前記現像剤受入れ装置に装着する際に前記係合部材が前記現像剤受入れ部に係合する面が前記装着方向下流側を向くように、かつ、前記係合部材を前記第１の位置決め部に付勢させる付勢部と、を備え、前記現像剤受入れ装置に対する前記現像剤補給容器の装着動作に連動して、前記係合部材は、前記被係合部に係合し、前記被係合部との係合によって前記第１の位置決め部から前記第２の位置決め部に向けて回動しながら前記現像剤受入れ部を変位させ、前記係合部材が前記第２の位置決め部に接触した状態において前記排出口が前記現像剤受入れ部と連通することを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　また、本発明の現像剤補給システムは、現像剤を受入れる受入れ口が形成された現像剤受入れ部と、前記現像剤受入れ部と一体的に変位可能な被係合部と、を有する現像剤受入れ装置と、前記現像剤受入れ装置に着脱可能な現像剤補給容器と、を備え、前記現像剤補給容器は、現像剤を収容する回転可能な現像剤収容部と、前記現像剤収容部に収容された現像剤を排出する排出口が底面に形成された排出部と、前記現像剤補給容器の装着動作に伴って前記被係合部と係合して、前記受入れ口が前記排出口と連通するように前記現像剤受入れ部を変位方向に変位させる係合部材と、前記排出部に設けられ、前記係合部材の両端部が回動可能となるように前記係合部材を回動可能に支持する軸部と、前記係合部材の前記軸部を中心とする第１の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第１の位置決め部と、前記現像剤補給容器の装着方向において前記第１の位置決め部よりも上流側に位置し、前記係合部材の前記軸部を中心とする前記第１の方向とは反対方向である第２の方向への回動を規制するために前記排出部に設けられた第２の位置決め部と、前記現像剤補給容器を前記現像剤受入れ装置に装着する際に前記係合部材が前記現像剤受入れ部に係合する面が前記装着方向下流側を向くように、かつ、前記係合部材を前記第１の位置決め部に付勢させる付勢部と、を備え、前記現像剤受入れ装置に対する前記現像剤補給容器の装着動作に連動して、前記係合部材は、前記被係合部に係合し、前記被係合部との係合によって前記第１の位置決め部から前記第２の位置決め部に向けて回動しながら前記現像剤受入れ部を変位させ、前記係合部材が前記第２の位置決め部に接触した状態において前記排出口が前記現像剤受入れ部と連通することを特徴とする。